

春のいきもの

穏やかな日差しのもとでたくさんの生き物が活動をはじめる季節です。サクラやツツジ、シロツメクサなどたくさんの花はもちろん、チョウやハチなど多くの昆虫が観察できます。また水生生物の産卵が見られる時期でもあります。鳥のさえずりも聞こえ始め、様々な方法で季節を感じる事ができます。

植物

【野山で見られる植物】

ニリンソウ（二輪草）



- キンポウゲ科
- 草本

●見られる時期：（花）4月

早春に白色の花を1～3個つけます。初夏には地上部が枯れます。北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布し、林縁や山ぎわの畑の土手などに生えます。

【海岸で見られる植物】

シャリンバイ（車輪梅）



- バラ科
- 木本（低木）

●**見られる時期**：（花）4月～6月

春から夏ごろまで白色の花が咲きます。秋から冬にかけて濃紫色の丸い果実をつけます。本州、四国、九州、琉球、小笠原、朝鮮、中国、台湾、東南アジアに分布し、海岸近くに生えます。また公園など普通に植栽されています。

ハマエンドウ（浜豌豆）



- マメ科
- 草本

●**見られる時期**：（花）4月～5月

春に紫色の花を数個つけます。北半球の温帯から亜熱帯に広く分布し、海岸の砂浜に生育します。茎は砂上を長くはい、先端は斜めに立ち上がります。

【人里で見られる植物】

オオイヌノフグリ（大犬の殖栗）



- オオバコ科
- 草本

●**見られる時期**：（花）3月～5月
春に淡青紫色の花をつけます。ヨーロッパ原産の帰化植物です。全国に広く分布し、空き地や道端に生えます。

シロツメクサ（白詰草）



- マメ科
- 草本

●**見られる時期**：（花）4月～6月
春に白色の花が咲き、ほぼ球形の花序をつくります。茎は地上をはい、ところどころの節から根を出します。ヨーロッパ原産の帰化植物で、江戸時代末期に持ち込まれました。その後、牧草そして輸入されたものが全国に広がったとされます。路傍や空き地、農耕地周辺などに生えます。

スギナ（杉菜）



- トクサ科
- シダ類

●**見られる時期**：（孢子茎：つくし 4 月～6 月）

春先にツクシ（土筆）と呼ばれる孢子茎が現れます。葉緑体をもたず、肉質で淡紅色です。先の孢子囊穂から孢子散布後すぐに枯死します。栄養茎は緑色で高さ 20～40cm となります。国内では、北海道から琉球、ロシア、朝鮮、中国、モンゴル、南アジア、ヨーロッパ、北アメリカに広く分布します。山野、路傍、市街地などにごく普通に見られます。

昆虫

スズメバチ類女王の活動開始期

※写真はオオスズメバチ



●見られる時期：4月下旬～6月

前年の秋、崩壊する巣から多数の新女王バチが旅立ち、朽ち木や地下で越冬します。翌春に一匹で巣作りを始める新女王バチにとって、樹液や花の蜜は貴重な栄養源になります。

アゲハ（ナミアゲハ）の春型



●見られる時期：4月～5月上旬

アゲハチョウの仲間は、さなぎで冬を越し、春に羽化します。卵～成虫のサイクルを年数回繰り返す昆虫では、春の羽化個体に現れる特徴を「春型」と区別することがあります。

マルカメムシの卵



●見られる時期：5月～6月

クズなどを食草とする小さな丸いカメムシです。成虫で越冬し春に食草に集まり、交尾ののち柔らかな枝先などに卵を2列、互い違いになるように産みます。

ヤマトシロアリの羽アリ



●見られる時期：4月中旬～5月中旬

朽ち木に巣を作って生活をします。ふだんは木材の中で翅（はね）のない白い体をしてますが、春に翅（はね）を生やして体が黒くなったオスとメスの大群が巣からいっせいに飛び立ちます。

ゲンジボタル



●見られる時期：5月中旬～6月

カワニナ（巻貝）が暮らす川に発生します。成虫はヘイケボタルより早い時期に出現し、体はヘイケボタルより大きく、発光はより強く長めです。日中は葉の裏などに隠れます。

両生類

トウキョウサンショウウオの産卵

【春と冬に掲載】



●見られる時期：2月～3月

神奈川県内では三浦半島だけに生息する小型のサンショウウオです。この時期、山その水辺にバナナのような形をした卵の入った袋「卵のう」を産み付けます。

アズマヒキガエルの産卵



●見られる時期：3月～4月

普段は水辺から離れてくらすカエルですが、産卵のために水辺に集まります。夜間には「カエル合戦」と呼ばれる集団での産卵を行います。

アユ若魚の遡上



●見られる時期：4月

秋に川で生まれたアユは、いったん海に下がります。春になると川を上ってきますが、サケのように生まれた川を選んで帰ることはしません。

鳥

ツバメの飛来

【春夏秋に掲載】



●見られる時期：3月～9月ごろ

ツバメは3月下旬ごろ、越冬地の東南アジアなどから横須賀にやってくる「夏鳥」と呼ばれる渡り鳥です。軒下などに泥と草をまぜて巣を作り、子育てを始めます。

ホトトギスのさえずり



●聞ける時期：5月

ホトトギスはウグイスなどの小鳥の巣に卵を産みつけ、育児してもらおう「托卵」をする夏鳥です。「トッキョキョカキョク」という特徴的なさえずりを夜間に多く耳にします。

ウグイスのさえずり



●聞ける時期：3月～6月

「ホーホケキョ」というさえずりで有名ですが、繁殖期以外は「チッ、チッ」と鳴きます。やぶの中でくらすため、姿を見るのが難しい鳥です。

シギ・チドリ類の飛来【春秋に掲載】

※写真は、チュウチャクシギ



●見られる時期：4月～5月、9月～10月

生まれ故郷シベリアと越冬地の東南アジアを行き来するシギやチドリのなかまは、旅の途中に横須賀に立ち寄ります。

ウミウの飛来

【春冬に掲載】



●見られる時期：10月末～4月中旬

北海道や千島列島で生まれたウミウは、越冬のために横須賀にやってきます。猿島のがけ地には、ウミウたちが集団で眠る「ねぐら」が形成されます。

カモ類の飛来

【春秋冬に掲載】



●見られる時期：9月末～4月

横須賀ではカルガモ以外のカモは、みな「冬鳥」です。秋に繁殖地であるシベリアなどから越冬地の水辺にやってきて、暖くなる春になると生まれた場所に帰ってきます。